

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年2月26日 (2015.2.26)

【公開番号】特開2013-146996(P2013-146996A)

【公開日】平成25年8月1日 (2013.8.1)

【年通号数】公開・登録公報2013-041

【出願番号】特願2012-11015(P2012-11015)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/13 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年1月9日 (2015.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体に記録を行う記録手段を備える装置本体のベースを構成するベースフレームと、
前記ベースフレームの装置左右方向における両端部に取り付けられて前記装置本体の外
観を構成する右ハウジング部材及び左ハウジング部材と、

前記ベースフレームにおいて前記装置左右方向と交差する方向である装置前後方向に延
びるとともに鉛直方向に沿って立設され、前記右ハウジング部材と係合する右側鉛直壁部
と、

前記ベースフレームにおいて前記装置前後方向に延びるとともに鉛直方向に沿って立設
され、前記左ハウジング部材と係合する左側鉛直壁部と、

前記右ハウジング部材において前記右側鉛直壁部と交差する面を成す右側板状部と、

前記左ハウジング部材において前記左側鉛直壁部と交差する面を成す左側板状部と、

前記右側鉛直壁部の上端部と前記右側板状部、および前記左側鉛直壁部の上端部と前記
左側板状部を密着させて、前記右側鉛直壁部の前記上端部と前記右側板状部との間および
前記左側鉛直壁部の前記上端部と前記左側板状部との間に摩擦力を生じさせる摩擦発生手
段と、

を備えた記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の記録装置において、前記右ハウジング部材と前記左ハウジング部材と
の間で、前記記録手段により記録が行われた前記媒体が排出される媒体排出口が形成され
る、

ことを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の記録装置において、前記装置本体の上部において回動可能に設けられ
、回動することにより前記装置本体を開閉可能なスキャナユニットと、

前記スキャナユニットに設けられて前記スキャナユニットとともに回動する操作パネル
ユニットと、を備え、

前記操作パネルユニットは、前記スキャナユニットが閉じた状態において装置前面を構
成するとともに、当該操作パネルユニットの下縁部が前記媒体排出口の一部を形成する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の記録装置において、前記右ハウジング部材及び前記左ハウジング部材のそれぞれの上面高さが、装置前方側に向かって低くなる、ことを特徴とする記録装置。